

「手話の更なる普及のために」 かとう手話フェスタ 2019



手話パフォーマンスでは、日頃の手話学習の成果を存分に発揮いただきました。



手話カフェでは、注文などのコミュニケーションが手話で和やかに行われました。

2月2日、滝野文化会館で、「かとう手話フェスタ2019」を開催しました。5回目となる今回も、市内で手話を学ぶ方々で構成された9チームが、手話劇や手話歌など、様々な手話パフォーマンスを披露したほか、会場ロビーでは、手話でコミュニケーションができる「手話カフェ」が催されました。

会場内では、たくさんの方が手話で会話する様子が見られたほか、手話を学ばれていない方もたくさん来場されており、手話に対する関心の広がりが見えました。

「ふるさと文化賞」を受賞 西戸百石踊保存会



兵庫県の重要無形民俗文化財に指定されている「秋津百石踊り」の継承に尽力されている「西戸百石踊保存会」が、公益財団法人兵庫県芸術文化協会の「ふるさと文化賞」を受賞され、2月10日に表彰を受けられました。

室町時代末期に起源があるとされる雨乞い祈願神事である秋津百石踊りは、今年も4月29日(水)に、秋津住吉神社で奉納されます。

「おまわりさん作文コンクール」 読売新聞社賞を受賞

第28回全国小学生作文コンクール「わたしたちのまちのおまわりさん」において、6,418点の応募のなかから岸本壮太さん(社小1年)の作品が、読売新聞社賞に選ばれ、令和元年12月に、読売新聞社(東京都)で開催された表彰式に出席されました。

日頃から、お母さんに感謝の手紙を書いている心優しい岸本さん。作文には、自分たちを助けてくれたおまわりさんへの思いを込めたとのこと。岸本さんは、「将来、おまわりさんになりたいです」と話してくれました。



表彰状を披露する
岸本壮太さん

「加東市がテレビで紹介されます」



人気タレントの原田伸郎さんがキャスターとして、関西圏の1つの自治体にスポットをあて、地域の最新情報や伝統的な歴史、文化、名物などを紹介し、その街のすばらしさを発見する、e0光テレビの「原田伸郎のこの街ええな」。このたび、この番組で加東市が紹介されることになりました。

視聴について

放送日時 3月4日(水) 9時～
3月4日(水)から17日(火)までの間、毎日リピート放送

※リピート放送の放送時間については、番組ホームページをご覧ください。

インターネット動画配信

3月4日(水)～ 2か月間配信



<http://bit.ly/38jcpah>



市長にインタビューする原田伸郎さん。

「地域の文化財を守り継ぐ」 消防署・消防団合同防火訓練

文化財防火デーの1月26日に、五峰山光明寺で、同寺、地元の消防団、および加東消防署の合同による防火訓練が実施されました。

加東市消防団第7、8小隊に所属する10分団、120人が参加したこの訓練は、各小隊間の連携、消防団と消防署との連携の強化や、市民のみなさんの文化財保護に対する関心を高めることが目的で、訓練想定は、重要文化財の銅像如来坐像を所蔵する同寺遍照院から出火し、仁王門付近の山林に延焼中というもの。放水は、仁王門前で消防署員、消防団員がそれぞれ2人ずつ筒先を担う形で行われ、それぞれの連携を強化しました。



仁王門前で加東消防署員(奥2人)と加東消防団員(前2人)が、山林に向かって放水しました。